

大阪湾漁場環境速報

平成23年3月4日発行
兵庫のり研究所

神戸港周辺～湾奥部～大阪府沿岸（関西空港付近）では、タラシオシラ、スケルトネマ等の珪藻が先月同様多く認められ、湾奥の一部で弱い赤潮が確認されました。一方、明石海峡および紀淡海峡付近では、これらの珪藻は少ない状況です。降雨による河川水等の流入が認められましたが、湾全般に窒素濃度が低い状況が続いています。週間予報（気象庁 3/4 11:00発表）によると、3/6～7にかけて日本の南岸を低気圧が通過し、太平洋側を中心にまとまった雨となる可能性があり、向こう1週間の降水量は平年並か平年より多い見込みとなっています。湾奥部で見られる小型珪藻の増殖の勢いは一時に比べて衰えています。穏やかな晴れの日が続くと再び増殖が活発となることも考えられるため、その動向に十分注意して下さい。

(水温) 表層は湾内8～10℃台で、平均8.7℃。昨年(10.3)比1.6℃、平年(9.4)比0.7℃それぞれ低い。-10m層は平均8.7℃(平年9.5)。

(塩分) 表層平均32.22psu(平年 31.58)。-10m層平均32.39psu(平年 32.28)。

(栄養塩、他) 表層の窒素は平均1.3μg-at/L、リンは平均0.22μg-at/L。窒素は平年(5.4)より低く、リンはほぼ平年(0.21)並。-10m層(平均)は、窒素1.5μg-at/L、リン0.25μg-at/L。河川水等の影響で表層塩分が低い神戸港周辺～湾奥部～関西空港周辺でタラシオシラやスケルトネマの発生量が多く、湾奥の一部で弱い赤潮を形成している。明石海峡、紀淡海峡部では、珪藻は少ない状況。小型珪藻が多い海域および淡路島周辺(St. 08, 09)で、夜光虫がやや多い状況であった(赤潮は確認されず)。透明度は赤潮海域で1.5～2.5m、その他は3.0～9.0mで平均6.6m。pHは表層平均8.20。

上段 (今回値)	平成23年3月3日調査
中段 (昨年値)	平成22年3月5日調査
下段 (平年値)	

調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 (μg-at/L)	磷酸 (μg-at/L)
04	10.0	32.89	2.7	0.33
	11.7	33.01	3.6	0.41
	10.4	32.72	4.2	0.34
05	8.6	32.43	1.4	0.27
	9.7	32.03	2.3	0.23
	9.3	32.00	3.7	0.21
06	8.3	32.48	0.8	0.26
	9.5	31.29	2.9	0.15
	9.2	31.65	5.0	0.22
07	8.6	32.43	1.4	0.27
	11.1	31.89	2.2	0.21
	9.5	32.15	2.5	0.20
08	9.0	32.40	0.8	0.21
	11.1	32.67	1.4	0.22
	9.8	32.35	2.8	0.24
09	8.8	32.34	1.0	0.21
	10.7	32.15	0.3	0.13
	9.8	32.35	2.8	0.23
010	8.4	31.70	0.3	0.09
	10.1	32.11	0.9	0.13
	9.2	31.91	2.3	0.14
012	8.4	31.07	1.0	0.11
	9.6	31.66	2.6	0.20
	9.2	31.14	7.3	0.21
013D	8.2	29.51	6.9	0.16
	9.5	31.69	1.2	0.13
	9.0	30.87	10.6	0.18
016	8.3	31.76	2.5	0.22
	9.6	29.80	5.9	0.14
	8.9	29.31	12.9	0.16
017D	8.2	28.78	11.3	0.28
	9.7	30.53	11.8	0.23
	9.1	30.07	21.8	0.23
018	9.1	28.60	27.5	1.14
	9.8	20.82	43.7	0.86
	9.1	26.46	30.3	0.48
S1	8.4	32.40	1.6	0.28
	9.6	30.63	1.4	0.14
	9.0	30.47	7.5	0.16
S2	8.1	32.06	0.8	0.15
	9.5	29.88	5.6	0.15
	8.8	29.85	10.5	0.14
S3	8.7	32.14	0.9	0.20
	10.6	31.87	1.2	0.14
	9.5	31.47	4.6	0.15
S4	9.7	32.80	2.2	0.31
	11.0	32.79	3.2	0.33
	10.2	32.49	3.8	0.31



